

Anna先生のLife in JAPAN Vol.9



■Anna・George
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。

今年の7・8月には、本当にたくさんのことが起こりました。テレビやインターネットに出ている、只見町の大雨の映像の数々・・・とてもびつくりしましたし、怖かったです。町民のみなさんもととても怖い思いをしたことでしょう。そのとき私は西会津にいたのですが、自分がいかに無力であるかを感じました。この只見町と、ここに暮らすみなさんが、災害から復興できることを祈っています。今年は、福島県に住む人々にとって辛い日が続いていますね。でも、先月の広報誌の表紙で、只見高校の生徒が町をきれいにしようとしてボランティア活動をしている

のを見て、とてもうれしくなりました。彼らは本当に一生懸命にがんばっていたんだなあと思います。

7月に、福島のALTとして参加するオリエンテーションがあったので、東京に行きました。これは世界各地からやってきたALTと会うものでした。この日、わたしたちは福島の孤児のための寄付金を募りました。いくら集まったかは、わからないのですが、少しでも役に立てばうれしく思います。

今年は須賀川の花火大会にも行きました。とても楽しかったです。イングラウンドでは花火はたいいてい11月くらいにみるもので、とても寒いです。どんなに雨が降っても、花火は夏の方がいいですね！

(訳・只見中・福地)



広報ただみ診療所

朝日診療所 医師 菅家 智史

『研修医・医学生がなぜ診療所へ?』

朝日診療所医師の菅家です。まず、7月の新潟・福島豪雨災害で被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。朝日診療所の施設には被害はありませんでしたが、停電・断水と物流の障害により診療に影響を受けました。そんな中、孤立集落からのヘリコプター搬送の受け入れ、災害に伴う怪我、体調不良の患者さんの受診対応が必要となっていました。休日はありませんでしたが、勤務職員を増員して対応しました。ちょうどその時、福島

朝日診療所医師の菅家です。まず、7月の新潟・福島豪雨災害で被害を受けた皆様にお見舞い申し上げます。朝日診療所の施設には被害はありませんでしたが、停電・断水と物流の障害により診療に影響を受けました。そんな中、孤立集落からのヘリコプター搬送の受け入れ、災害に伴う怪我、体調不良の患者さんの受診対応が必要となっていました。休日はありませんでしたが、勤務職員を増員して対応しました。ちょうどその時、福島

彼らの研修・実習は、大きな病院で行われることがほとんどです。しかし、私たちの体調不良のうち、大きな病院でしか直せない病気がごく僅かです。ある研究では、1000人の住民を1ヵ月観察したところ、医療機関を受診した人が250人、そのうち入院した人は9人、そして大病院に紹介された人は1人しかいなかったそうです。大病院にはまれな病気の人が受診しますので、研修医・医学生の実習が大病院で行われていると、咳、発熱、腹痛、頭痛、切り傷など、普段よく起こす症状や、風邪、肺炎、胆石、膀胱炎、蕁麻疹、

水疱瘡など、ありふれた病気を見る機会が少ないのです。また、介護や福祉、救急隊と連携した診療は大病院では難しく、只見町だからこそできる経験もあります。

研修医がなぜ只見へ?と感ずる方もいるでしょう。朝日診療所では、医師になって1

研修医がなぜ只見へ?と感ずる方もいるでしょう。朝日診療所では、医師になって1

研修医がなぜ只見へ?と感ずる方もいるでしょう。朝日診療所では、医師になって1